

大阪市

NPO法人「ホームドア」(川口加奈理事長、大阪市)は、自転車を出し出すシェアサイクルの運営を通じて路上生活者の自立支援を行っている。2013年度にかかわった人のうち約半数が就職など次のステップへ進んだという。

団体は、山口理事長が大阪市立大在学中だった10年に「ホームレス状態を生み出す社会構造を変えたい」と設立。最初は大阪市西成区内でニーズ調査も兼ねたカフェの運営から始めた。

そうしたかかわりの中で、自転車や荷台を使用して空き缶集めをするなどの多い路上生活者は、自転車修理の技術が高いことに気づいたという。一方、大阪では放置自転車も多いため、そんな二つの社会課題を解決す

シェアサイクルで自立支援

路上生活者の技術生かす



松本事務局長。拠点となるホテルの前で

度は52人が働き、このうち44%が就職など次のステップに進んだという。

スタッフの平均年齢は54・4歳。最初は皆自己有用感が低く、接客に苦手意識を持っているものの、徐々に自

るシェアサイクル事業

「ハブチャリ」を立ち上げた。

ハブチャリは、大阪市内に自転車の貸し出しと返却を行う拠点を設置し、自由に使えるシステム。利用者は1時間100円もしくは1日700円でレンタルできる。拠点の場所は公共機関やホテル、

NPO法人が運営

民間企業のビルなどまぎまぎ、現在20カ所以上あるという。元路上生活者らは、ただでなく、他人とかけあ付きの中間的就労を行うスタッフとして取り戻していくと指して、拠点で接客や自転車メンテナンスなど困ったことにSOSを行う。同法人とは6カ月間の業務委託契約は、自立への一歩をつなぎ、働きに応じたながら」と話している謝礼を受け取る。13年。

高校生37人に奨学金

黒松内つくし園で贈呈式

北海道

は、町内の母子・父子家庭や児童施設などで暮らし、経済的理由で

北海道黒松内町の社会福祉法人黒松内つくし園(廣瀬清蔵理事長)は、このほど奨学金贈呈式を行い、法人役員や町民有志の寄付金から総額133万円の奨学金を37人の高校生二人ひとりに手渡した。

今年度は、同法人設の30人と里親家庭、



榊田静男・委員長から奨学金が手渡された

母子・父子家庭の7人年目。総額1830万円に奨学金が贈られた。円、延べ787人に支給した。1977年から始まった同制度は今年で37

エリア情報

このコーナーでは、各地の福祉情報を紹介していきます。
http://www.welfare.or.jp/kouen/